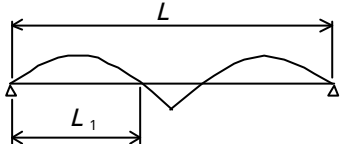
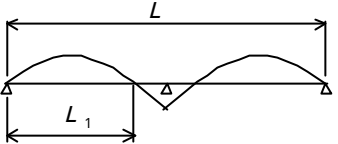


鋼・合成構造物標準 (SI 単位版) 正誤表

ページ、行	誤	正
p3, 解説図 1.1.1	昭和 49 年 11 月 (2 箇所)	昭和 <u>48</u> 年 11 月 (2 箇所)
p16, 上 5 行目	JIS G <u>5021</u>	JIS G <u>5201</u>
p36 解説図 3.5.3 (e)		 中間支点を追加
p59, 上 6 行目	γ_5 : 転倒に対して照査する場合の補正係数 (= <u>2</u>)	γ_5 : 転倒に対して照査する場合の補正係数 (= <u>1.2</u>)
p63, 上 2 行目	- 建造物整備心得解説 -	- 建造物整備心得解説 -
p69, 表 5.2.2	標中の鋼種 SM570, SMA570 の中段 $10 < l/r$ 95	$l < l/r$ 95
p79, 上 16 行目	鋼材の引張強度を超える場合は, <u>引張強度</u> を上限値とした.	鋼材の <u>保証引張強度</u> を超える場合は, <u>保証引張強度</u> を上限値とした.

p87 解説表 5.4.1	<ul style="list-style-type: none"> • および の適用材の区分と各数値の配列 • の支圧応力度 700 の段の係数 K 0.034 • ヘルツの支圧許容応力度の単位 (kgf/cm²) 	解説表 5.4.1 鋼材の組合せと支圧強度				
			ヘルツの許容支圧応力度 _b (N/mm ²)	適用材料	係数 K (N/mm ²)	係数 (N/mm ²)
	線支承、ローラー支承	鋼と鋼の接触ヤング係数 E=2.0×10 ⁵ (N/mm ²) ポアソン比 =0.3	600	SS400, SC450, SCW410	9.8	15.7
			700	SM490, SC480, SCW480, CSCn1A, S30CN	13.3	21.3
			750	S35CN	15.3	24.5
			780	SCMn2A	16.5	26.4
			1900	C-13B(焼入れ)	9.8	156.8
	球面支承	鋼と鋼の接触ヤング係数 E=2.0×10 ⁵ (N/mm ²) ポアソン比 =0.3	600	SS400, SC450, SCW410	0.084	0.134
			700	SM490, SC480, SCW480, CSMn1A, S30CN	0.134	0.214
			750	S35CN	0.164	0.262
			780	SCMn2A	0.184	0.294
	鑄鉄を用いた線支承	鋼と鋼の接触ヤング係数 鑄鉄 E ₁ =1.0×10 ⁵ (N/mm ²) 鋼 E ₂ =2.0×10 ⁵ (N/mm ²) ポアソン比 鑄鉄 $\nu_1=0.25$ 鋼 $\nu_2=0.3$	600	FC250とSS400	15.5	24.8
	p103, 下10行目	M _{bux} : 横倒れ . . . 曲げ耐力 (N/mm ²) で, . . .	M _{bux} : 横倒れ . . . 曲げ耐力 (N・mm) で, . . .			
	p103, 下4行目	M _{buoy} : 弱軸まわりの曲げ耐力 (N/mm) で, . . .	M _{buoy} : 弱軸まわりの曲げ耐力 (N・mm) で, . . .			
p114, 上6行目	$\alpha/\gamma=1.5 - R (0.5 < R \leq 1.0)$	$\alpha/\gamma=1.5 - R (0.5 < R \leq 1.0)$				
p153, 上11行目	ここに, $\frac{a}{b} \cdot \frac{b}{c} \cdot \frac{c}{d}$: 6.1 に定める安全係数	ここに, $\frac{a}{b} \cdot \frac{b}{c} \cdot \frac{c}{d}$: 6.1 に定める安全係数				

p158 , 解説図 9.1.2	トラス切抜きガセットの	トラス切抜きガセットの
p159 , 上7行目	ここに , $\frac{a \cdot b}{i}$: 6.1 に定める安全係数	ここに , $\frac{a' \cdot b'}{i}$: 6.1 に定める安全係数
p163 , 上5行目	その他の継手の (2) , (2)とする .	その他の溶接継手の (2) , (2)とする .
p167 , 解説図 9.2.2	図中のG'の一点鎖線 .	図中のG'の一点鎖線はGの斜線まで一点鎖線のままで , その左は消す .
p193 , 上5行目	1 . 溶接継手の応力計算に用いる有効長は ,	1 . 溶接継手の応力計算に用いる溶接の有効長は ,
p250 , 上14行目	P : 最大作用軸方向力	P : 最大軸方向力
p343 下11行目	ただし ,	ただし ,
p358 , 上16行目	等級については , 原則として「2級」に読みかえる .	削除
p358 , 下1行目	ただし 現時点では 欠陥種別 承諾を受けることとした . これらを考慮し , よいこととした .	これらを考慮し , よいこととした . ただし , 現時点では , 欠陥種別 承諾を受けることとした . と順序を入れ替える .